

事務事業名	海洋センター管理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	社会教育グループ	課長名	小川 浩
施策名		(28) 生涯スポーツの振興	担当者名	佐藤 誠二	電話番号(内線)	0854-40-1073
基本事業名	(084) スポーツ環境の充実	予算科目	会計	款	項	目
			0	1	5	0
			3	0	1	0
			1	0	1	0
			中事業	海洋センター管理事業		

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	株式会社キラキラ雲南による指定管理施設。年度協定に基づく指定管理委託料の支払い。施設管理業務に関わる指定管理者との協議。修繕に対する、予算措置、契約など。	H18年度から市の方針で指定管理制度を導入した。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	指定管理委託料	15925千円							
	修繕費	294千円							
	賃借料	403千円							
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	① 指定管理料算定事務	② 指定管理料支払い	③ 協議	④ 年度協定締結業務	⑤ 修繕対応				
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	16,329	16,329	16,622	34,389	15,985		
	事業費計(A)	千円	16,329	16,329	16,622	34,389	15,985		
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1			
	延べ業務時間	時間	200	200	250	300			
	人件費計(B)	千円	763	778	986	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,092	17,107	17,608	34,389	15,985		

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	① 指定管理料算定事務② 指定管理料支払い③ 協議④ 年度協定締結業務⑤ 修繕対応	ア 協議など	件	1	2	4	2	2	
		イ 修繕	件	2	3	2	3	0	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ							
	① 指定管理料算定事務② 指定管理料支払い③ 協議④ 年度協定締結業務⑤ 修繕対応	エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民	⑥ 対象指標							
		ア 人口	人	42428	41927	41899	41454	40999	
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	施設を利用することにより、体力の向上、健康増進等が図られ、交流を通して人づくり・地域づくりに繋げる。	ア 施設利用者数	人	35031	39707	35666	40000	40000	
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	生涯を通じて、スポーツや運動を楽しむ。スポーツや運動の機会の提供・普及促進に努める。	ア 週1回以上(1回30分以上)スポーツをしている市民の割合	%	39.5	37.5	35.5	43.0	44.0	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
指定管理者制度を導入したことにより指定管理者による様々な施設活用が図られ、競技・生涯スポーツ活動等の振興に繋がっている。	指定管理施設の管理のみではなく、施設を利用した事業が行われ、施設の有効活用が図られている	指定管理者から、施設においては老朽化に伴い修繕箇所が目立ち、指定管理料では対応できないものもあることから修繕要望が出されている。

事務事業名	海洋センター管理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 競技・生涯スポーツ等の振興を図るために必要な施設であり、市民の体力向上や交流の場となっていることから、指定管理者による適切な施設管理は、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 競技・生涯スポーツ等を行う場を提供し、安心して使用できるよう施設管理することは、行政が果たす役割であり、市の方針に基づき指定管理者による施設管理をおこなうことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 市の体育施設であり、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ すでに多くの企画事業や総合型スポーツクラブを展開し、利用者を維持している。限られた施設の中でこれ以上向上は難しく、向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 市の直営管理となり事務量の負担増となる。企画事業等がなくなり利用者の減やスポーツ振興にも影響あり。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 多くの体育施設を同じ指定管理者に委託しており、今以上の統廃合・連携することはできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 限られた指定管理料の中で、多くの企画事業を行い、利用者数を維持し成果をあげている。そうした中で削減は難しく削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ すでに指定管理行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 市民を対象としており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで直営管理をしていた施設を、指定管理に出すことにより事務量の大幅な軽減に繋がっている。 また、各施設とも指定管理者により適切な管理がおこなわれている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
施設は老朽化が進み、計画的な修繕が必要である。24年度には大規模な修繕(上屋の膜体取替や鉄骨塗装)を予定している。																							